



菜花の収穫風景

春爛漫!! 農園も前回

今年は、仁木の方に苗立てハウスがないので、札幌の小別沢農場の方で苗を作っています。仁木の方には、男の人たちが通って、ハウスを建てたり、種まきや定植をしています。



左は完成したミニトマトのハウス。右は大玉トマトのハウス建設中

私は一人札幌に残って、ハウスの苗の管理をしています。

朝は4時半から2人のお弁当を作り、朝食を食べさせ、7時頃までにハウスに行き温度管理をしたり、水やりしたり、トレーに種まきしたり、ポットに移植したり、トレーやポットの草とりをしたり、移植用の土づくりをしたり、法蓮草の収穫をしたり、昼休みと夜は、家で収穫した法蓮草の処理（汚い葉っぱや土を落として製品化するしごと）をしたりしています。大分睡眠不足です。

仁木の様子

仁木組（福田君・池田さん・主人と息子・時々高田さん・時々ボランティアさん・時々見学者）も、朝6時には出発するので大変です。

仁木では、ジャガイモや、法蓮草、小松菜、春菊、大根、カブ、人参、絹さや、グリーンピース、スナックエンドウ、カボ



チャ、ズッキーニ、キャベツ、レタス、美味タス、ブロッコリーなど植え終わり、2棟目のハウスを建てているところです。ハウスは2棟ともトマト類を定植する予定です。

今仁木で採れているのは、自生のアサツキとフキ、白菜と小松菜の菜花です。

独り言

そんなこんなで、今はほとんど肉体労働者で、夜は居眠りがついて、なかなか農園だよりが書けません。前回（種子について）のつづきは少し落ち着いてから書くことにしました。今回は現在の進行状況と、出荷状況の報告と写真だけにさせて戴くことにしました。



今まで、1～10まで自分でかかわって苗作りをして来たわけではなく、私は口出しだけすることが多かったのですが、自家育苗の土づくりをするという事がどんなに大変かよくわかりました。まず、きゅうりのポット移植の為に土づくり

- ① 畑の土をふるいにかける。
- ② かくはん機の中にその土を運び入れる
- ③ ②に、堆肥・活性炭・もみ殻燻炭・ヌカ・バーミキュライト・陸王（マグネシウム主体の天然ミネラル）・有機リン酸・焼成ホタテカルシウム・貝化石草木灰・ピートモスなど入れてバランスよく配合
- ④ じょうろでエリクサー水をかけながら、機械で攪拌
上手にエリクサー水をかけないと、土のカタマ

りが出来てしまうので、もう一回ふるいにかけるか、手でほぐす羽目に・・・

⑥ ポットに土を入れてやっと移植

⑦ 水をたっぷりかけて、温室に移動して温度管理

思ったより、土は結構に重いけれど、体はだんだん慣れてきて、いい感じです。お陰様で、ほとんどの苗はすくすくと育ち、失敗を予定して多めに作った苗が残りそうなので、販売する予定です。

ブータン・チリ(唐辛子)

文化人類学者の辻信一さんから戴いた「ブータン・チリ(唐辛子)」。料理する前に、ふと思いついて、その種を採って植えてみました。ちゃんと芽が出て、今ポットに移植したところです。ブータンでは何にでもチリを使うそうですが、大量のチリを肉やチーズと一緒に煮込むと美味しいそうです。おいしそう左が辻先生と思われた方は、楽しみにしていて下さいね。トウガラシを種まきする時期は少し過ぎていたのですが、まだ十分間に合うと思います。



仁木農園篇

—宮下 周平—

栗とリンゴの苗木植え

仁木・余市は果物の街。しかし、取得した果物畑の面影はなく、全て伐採されていたのだ。その為、何もなかった広い畑は、野菜造りには最適ではあったが、何か物寂しい。そこで、余った土地に栗や僅かのリンゴを植えることにした。

大樹の元の安らぎ、草花に囲まれる歓び。野菜もいいが、果物もいい。一年のいのち、多年のいのち。ともに体を養ってくれて、心まで育ててく

れる。果物は初挑戦である。

以前にも書いた、縄文文明の復興。収奪作物でない、循環作物による平和。自然と実を結んでくれる栗などの木の実を植樹することが、最初のスタートではないかと考えている。

まず手始めに、今年は20本そこそこの植樹からして、畑の周りを次第に増やして行こうと計画している。所々に、果物を植えよう。ビートルズのアップル・レコードのマークともなった原種、あのGRANNY SMITH グラニースミスリンゴの苗木を5本ばかり植えた。

秋には、希少なマッカムも育てたい。

植え方だが、穴に、周りで枯れた大イタドリの木を折って埋めて、水脈、空脈、気脈を形成して土壌の団粒構造を促し、燐炭やエリクサーのリハビリッシュした廃棄の活性炭を撒いて微生物の繁殖に好都合な空間を作って上げた。

そこに、多少のミネラルと、一年間野ざらしにした窒素分のない堆肥を入れて、寒冷地向きの北海栗と大型栗を定植した。

今回は、家の横になる大木の丹波栗を実生から育てて増やそうと目論んでいる。種から育てるほど、土地に馴染み、強い遺伝子を継承するだろう。きっと、この恩恵に預かるのは、孫子以降の何世代も後の者たちとなる。私たちに出来る事は、そんなことくらいであろうかと、思うのだ。

南瓜の定植

その日は、朝から突風。猛烈な風の洗礼は、毎年のことらしい。それがカボチャの定植の日。普通植えなら、風に煽られ、本葉双葉が今にも折れそうになる。そこで、ギリギリまで深植えして、西向きに塚石のように小石を立てて風除けを作って凌いだ。何とも時間のかかる作業。だが、この愛情で、次の日は一本も折れずに生き延びたのだ。めでたし、めでたし。



菜花のはなし

日々の日報の中で、スタッフ小島侑子さんのコメントにこうありました。

「仁木農場から届く小松菜な花、白菜な花、野生アサツキ、小別沢から届く越冬ほうれん草、どれも生き生きして、早速頂きましたが、とても美味しかったです。お客様も農園からの野菜を食べて美味しかったと、言って頂いています。毎日、畑で収穫する仕事があって私たちが食する事が出来るということを忘れず、感謝し、笑顔で頂きたいと思います。ありがとうございます。」



菜花の取り方。

- ① 脇芽が 4, 5 枚の処で茎を採る。
- ② その脇芽から、次の菜花が成長する。
- ③ 次々と花芽が出て、それを摘み取る。



Earthing アーシング

FB 上で、小樽在住の整体・武道家の三枝龍生氏（大貫妙子さんの友人）が、余命三ヶ月の臓癌なることをカミングアウトされた。俄かに、全国のファンや弟子の方々が騒いだのも当然である。その彼が、ひょっこり仁木の畑に訪れた。何もお構いする術もなく、「どうぞ、素足になって、休まれてください」と、言ってしばらくすると、「すっかり、顔のむくみが取れた」と、隣の余市川の水で、更に足を漬けて気を流し、帰られ

た。それから、しばらくして、NY 在住の坂本龍一氏から三枝さんに、連絡が入り、Earthing の動画が送られて来たという。そして、下のメッセージを伝える。

Ryusei Makoto Saegusa

皆で、勉強しよう！

皆で、脱ごう (^-^*) ！！！！

アースィング！

是非、御覧あれ！ 再度、掲載！



ダウン・トゥ・アース

<http://earthing.jp/> クリント・オーバ氏中心に「アースィング」についてのこの新しいドキュメンタリーで、人間の身体は大地に繋がるとどうなるかを説明します。 Reuploaded with permission of original copyright holders. YOUTUBE.COM

その後、再び、農園にいらして、裸足の援農で、自生浅葱の収穫をして頂いた。その時のコメントです。

その後さすがで、御座います (^-^*) ！

農家の方は、都会人を、決して、甘やかしたりは致しません (^-^*) ！！！！

本日、2度目のアースィング、気楽に参りましたが開口一番！「三枝先生、だいぶ良いですね！ならば、裸足で雑草を取りましょう！アースィングも兼ねて」

雑草、アサツキは、滋養食品でも、ありますね！

＊雑草は、無農薬農業の最大の問題児ですね (^-^*)

驚くべきアースィング！！！！

靴により、アスファルトにより、現代人は完全に大地と隔離され、遮断してしまいました。その断絶が病を誘発しているのかもしれませんが。体内に蓄積されている電磁波などを地中に流しましょう。そんな意味でも、農業が健康への一番の近道かもしれませんね。

どうぞ、アースィングしながら、援農にお越しください。

三枝先生の快癒をお祈りいたします。



かわいファーム

川合 浩平

皆さま、こんにちは！
かわいふあ〜むのカワイです！
今年も始まりますよ〜！

去年は格別のお引き立てを頂き、誠にありがとうございました。

今年もだいぶ明けまして、そろそろ3分の1も過ぎた頃ですが、本年も宜しくお願い致します！！

去年は世界的に見ても想定外の事がよく起こり天候もかなり破天荒でした。

今年はフランスの大統領選でも予想外ではなく、世界は平静を取り戻しつつあるのかと思っています。

それもつかの間、今度は日本海を挟んだアノ国が騒がしくなりそうですし、天候も今年は雨が少なく、なかなか波乱含みな予感もします。

さて、世界的な憂鬱から札幌の小別沢の小さな畑に目を向けてみると、そこは何千、何万年前からのほのか昔から変わらない生き物たちの春の営みが始まっています。

木々が芽吹き、草たちが少しずつ大きくなって花が咲き、虫たちも動き出し、野鳥の気持ちよさそうな鳴き声が聞こえてきます。

人間達がなんだかんだと一喜一憂している間にも、雄大な自然界はゆっくりながらも、いつも通り春が動きだしています。

では、かわいふあ〜むは？
もちろん動き出していますよ〜！



では何をしているか？

ポチポチ種を撒き、苗を育て、皆さんの胃をガッチリつかむ為に日々農作業に追われています！

だから言っちゃいます・・・

お宅の冷蔵庫の野菜室、空けておいてください！
笑（本格的な出荷は6月になりますが）

さて、トマトなど果菜類の育苗は去年に引き続き、農園のハウ スで一緒にやらせて頂いています。
苗の管理は宮下顧問がやってくれていますので、今年は畑の準備をフルでやる事が出来ています！（写真）

なので、来年は一人で苗の管理をしながら畑の準備もなので、今から手が回るのか心配です。
来年はどうなっているのでしょうか・・・・・・



先月のおたよりの発表のあった通り、来年から農園のあった場所を使わせてもらう予定です。
（今年もいづらか使って、その他の畑は緑肥にする予定です）

お陰様で、色々やりたいことが山積みで手が回りません。
アレやってコレやって、ココをこーしてあーして・・・

昨年のおたよりに、「身体がキツイので栽培品目を
絞り込む」なんて書きました。

バカ言っちゃいけ ません！
冬のうちに夏のキツさは忘れました。

だから今年も品目を増やします！！

まず、今年は新顔野菜として、「コリンキー」
生で食べるカボチャなんです。
自分も食べたことないのですが、かなり食べてみた
いです。

そして、「コールラビ」「テーブルビート」
昨年は両方ともほぼ自家用で終わってしまったの
で、今年こそは皆様の食卓へお届けします。



昨年も出した「すいおう」
さつま芋の葉を食べる専用品種。
レジの大庭さん推薦で、結構人気ありましたよ！

そして昨年出荷しなかったペポカボチャ！
実の部分はハロウィンカボチャとして飾って終わ
りましたが、今年は売ります！

ハロウィンの顔をつける前と顔を掘ったのとなを2種
類売ります！

予約 を受け付ける予定です！

あとカボチャと言えば、レジの横に飾ってあった「ま
ほろば」の文字の入ったカボチャ、ご覧いただけま
した？



実は作ったのはかわいふあ〜むでして、今年はい
んな風なかぼちゃの文字入れの予約も受け付けま
す！
書くタイミングにより失敗する可能性もあります
ので、その場合はご容赦願います。

さて、そろそろ文字数が・・・。
何か書き忘れがあるかもしれませんが、それは次
号にて！

あ、今年は援農ボランティアさんを募集してあり
ます。
もしやっていただける奇特な方がいらっしゃいま
したら、お店のスタッフさんにお声掛けくださ
いませ！

2017 年も夏は痩せます！

かわいふあ〜む YASAIACCA カワイ

